

基礎－２（連続受講）

「パソコンスキル基礎科（求職者支援訓練）」

⇒「パソコン中級科（公共職業訓練）」

女性：28歳（母子世帯）

希望職種：事務職・受付

直近の雇用形態：8年前に飲食業（アルバイト1年4か月）

① 抱える課題

- ・経済的な理由により高校中退。就労経験は、飲食業でのアルバイトのみであり、希望職種である事務職の経験や仕事に伴う資格はありませんでした。
- ・母子家庭であることから、就業条件に一定の制約がありました。
- ・社会人としての経験が少ないこと及び本格的な求職活動の経験がないことに本人が不安を感じており、ハローワークでの職業相談には常に母親が付き添っている状況でした。



② 支援内容・ポイント・経過

- ・将来を考え自立するための就労意欲はありましたが、社会人としての経験が少ないこととスキル不足による不安が先行していたことから、職業訓練の受講による「職業意識」、「ビジネスマナー」及び「PCスキル」等の習得が再就職に有効であると判断し、求職者支援訓練の**基礎コース（パソコン基礎科：訓練期間3か月）**を受講あっせんしました。訓練受講中は職業訓練受講給付金を活用しました。
- ・訓練受講中、受講生とのコミュニケーション不足が不安であると相談あり。グループ討議やクラス内での役割などを積極的に行うように指導し、時間はかかりましたが、次第に人と接することへの恐怖心が無くなり、前向きな姿勢を取り戻すことができました。
- ・求職者支援訓練の基礎コースを修了し、就職活動を行いました。体調を崩し活動を休止しました。完治後、活動を再開されましたが、採用には至りませんでした。就職への意欲が低下しないことと自信を持たせることを考え、**公共職業訓練（パソコン中級科）**への連続受講を提案。本人は再び意欲を見せ受講することとなりました。その結果、「ワード2級」「エクセル2級」の資格を取得されました。
- ・ハローワークの指定来所日には、応募書類の添削、求人情報提供及び面接の受け方等のきめ細やかなアドバイスをし、求人の選定・絞り込みを行った上で求人を紹介しました。



③ 結果

- ・ショッピングセンター内のインフォメーション業務の契約社員として採用：パソコンによる業務管理など（月収14万円）

※支援期間 12か月（連続受講）

※ ハローワークが必要性を認める場合、「求職者支援訓練の基礎コース」→「公共職業訓練」の組み合わせのみ、連続受講することができます。